

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	岡山白ゆり発達支援センター		
○保護者評価実施期間	令和7年11月1日		～ 令和7年12月1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	40	(回答者数) 39
○従業者評価実施期間	令和7年11月1日		～ 令和7年12月1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子どもに寄り添った教材・支援	・子ども一人ひとりに合わせて教材を作ったり、教え方を変えている。 ・支援者との信頼関係の中で安心できる環境作りを心がけている。その中で、子どもから家族には言えないことや自分の考え、思いを伝えてくれるようになっていく。	・支援者の知識のアップデートや質の向上のために、勉強会や研修を行っている。 ・職員間で話し合いをしながら教材やイベントの内容をより豊かなものにしていく。
2	・机上だけでない学習	・実際に長さや時間、重さをはかるゲームをする等、一見遊んでいるようでも実は勉強の要素が詰まっていることを計画している。 ・子どもからの希望により、キャッチボールや昔遊びなどに取り組む時間をとり、子どもと向き合う時間を取っている。	・子どもたちが自発的にやりたいと思えるような教材・活動を立案していく。 ・学習だけでなく、その子の強みや苦手なこともしっかり向き合っていく。 ・活動の目的を明確にし、保護者様にも伝えていく。
3	・長期にわたって利用されている方が多い	・子どもたちが満足して帰ってもらえることはもちろん、保護者様にも寄り添った支援ができるよう日々心掛けていく。 ・保護者様から相談等があった時はその場で（難しいようなら場を改める/電話等で対応）話を聞き、一緒に考え悩みを共有できるよう日々努力している。	・今後も1回1回のご利用を大切に支援していく。 ・相談された内容でわからないことがあれば他の職員に聞く等して、事業所全体でサポートできるようにする。 ・知識のアップデートや習得のために研修等に参加する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・子ども同士、地域や保護者同士等の交流の場	・提供している支援の形態上、交流の場が少ない（掲示板やイベント等を通して交流する、一緒にゲーム活動に取り組む等）はしている。 ・利用時間が同じ方向同士で話をされることはあるが、事業所が主催するような場は設けていない。	・支援の形態上難しいことはあるが、一緒にカードゲームをしたり、掲示物等で間接的な交流ができるよう、今後も様々な交流の形を検討していきたい。 ・保護者からご希望があれば保護者同士の交流も検討していきたい。
2	・情報発信（周知）	・マニュアルは作成し、毎月通信を作成して玄関や保護者控室に掲示をしているが、広く周知しきれていないと考えられる。	・引き続き玄関や保護者控室に掲示を行うが、掲示の仕方等を工夫して少し見ただけでも何をしたのかわかりやすく等する。 ・年度初めに再度お知らせをする。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		岡山白ゆり発達支援センター						公表日		令和8年3月1日	
		利用児童数				40		回収数		39	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応			
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	38	1							
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	32	3							
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	37	1		1					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	38			1	いつも清潔で自然も感じることができ、季節の飾り物も学びのきっかけになっていて安心して過ごすことができます。	気持ちよく通っていただけるよう、今後も続けていきたいと思っています。			
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	36	2			子どもの興味に合わせて教材で学ぶことができ楽しく通っています。	事業所に来ることが楽しいと思っただけよう今後も努めて参ります。			
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	36	1		2					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	36	2		1					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	37	1		1					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	37	1		1					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	34	3		2					
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	14	7	6	11					
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	38	1							
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	37	1		1					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	21	7	3	7					
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	35		2	1					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	36	1	2						
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	39					褒めてくださるので子どもが喜んでます。			
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	14	7	5	8		こちらから兄弟のここの相談をしてもきちんと考えて答えて下さるのでそれで良いと感じています。			

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18	5		2	学校のことで悩んだ際、すぐに相談の場を設けて頂きました。とても心強かったです。	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	32	1				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	26	4	1	3		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	31	1	1	1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	28	2		4		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	27	2		5		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	32	1		1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	32			2		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	34					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	34				先生とのお話を楽しみにしています。先生とこころな話をしたよと教えてくれます。子どもにとっていっぱい話ができることで楽しく安心して過ごしています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	33	1			とても満足しています。先生大好きといつも話してくれます。安心して通うことができます。子どもに合った対応をいただいて親もとても満足です。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		岡山白ゆり発達支援センター				公表日	令和8年3月1日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0	子どもに合わせて部屋を使い分けています。		
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	1	お休みが出た場合は代わりの職員が支援に入る等して工夫していますが、調整に苦慮することもあります。	配置基準は満たしているが、安全面等を考慮すると難しい時もある。利用児の安全や保護者様の安心のためにも常に安全面に目を配るよう留意しています。	
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	0	事業所内はバリアフリー対応で、子ども1人ひとりに合わせて環境設定を行っています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0	毎日掃除、消毒、換気を行い、気持ちよく過ごしていただけるように心がけています。		
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0	その時・場に応じて使い分けています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	1	毎朝全職員でミーティングを行い情報共有をしています。また、気になることがあればその都度話をするようにしています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	毎回貴重な意見をいただいております。いただいたご意見は共有し、活動に生かさせていただいております。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	毎朝のミーティングや月1回職員会議を行っています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	2		必要に応じて実施を検討させていただきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	法人内の研修にはどの職員も参加するようにしています。内部・外部研修にも参加できる機会を確保しています。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0	作成、公表しています。		
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	0	期間毎にモニタリングを行い、ご本人と保護者様の意向を取り入れた支援計画を作成しています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	日々子どもの様子を共有し、検討した上で作成しています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	作成された支援計画は全職員が確認するようにしています。		
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	1	日々の活動の様子や保護者様からの相談・情報は記録に残しています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0	ご本人と保護者様の意向を取り入れながら設定しています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0	職員で相談しながらプログラムを考えています。		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	子どもの様子や特性に応じてプログラムを設定しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	0	子どもの発達段階に応じた個別、集団における課題を見つけ、個別支援計画に反映させています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0	随時話し合い等を行い、共有をしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	1	その日の子どもの様子だけでなく保護者様からの情報も伝え、共有を行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0	日々の活動を記録し、保護者様に確認していただいています。また、その記録を読み返すようにしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0	半年に1回支援計画の見直しを行っています。その際、保護者様からも情報を得るようにしています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	3	1	子どもたちの自信につながるよう、組み合わせさせて支援しています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	0	お楽しみの時間に子ども自身がしたいことを考え、内容や手順等を決めて実行できるようにしています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0	担当職員または児童発達支援管理責任者が出席するようにしています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	1		ご希望があれば検討させていただきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3	1	保護者様から情報提供していただいています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	2	法人内の園であれば担任と情報共有しています。法人外の施設とは保護者様や相談支援員を通して共有しています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	1	保護者や相談支援員を通して情報提供をしています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	4		検討させていただきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	3		ご希望があれば検討させていただきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	4		時間が合わず参加できていませんが、参加できればと思っています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	送迎時等に直接保護者様とお話させていただいています。随時相談にも応じています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	3	家庭や学校等での状況の聞き取り、相談への助言等、随時対応しています。	プログラムとしては行っていません。ご希望があれば検討させていただきます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	契約時に書類と一緒に説明しています。質問があった時には速やかにお答えするように努めています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	日々の活動や保護者様を通して意向をお聞きしています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	0	新しい支援計画を発行する時には提示しながら説明し、その場でサインをいただくようにしています。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	いつでも相談に応じるようにしています。時間が合わなければ後日場を設けたり電話で対応しています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0	4		ご希望があれば検討させていただきます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	随時何かあれば相談してほしいことを伝えていきます。申し出があればすぐに場を設けています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4	0	共通する教材や課題に関しては入り口に通信を掲示しています。	発信方法を工夫しながら周知できるよう努めていきたいと思っています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	事業所外に持ち出さないことはもちろん、不必要に口に出さないように気を付けています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	子どもたちだけでなく保護者様にも気持ちよくご利用していただけるよう日々努めています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	4		検討させていただきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0	各マニュアルを策定し、職員だけでなく子どもたちと一緒に訓練も実施しています。	保護者様への周知が今後の課題であり、掲示や伝える工夫を検討していきたいと思っています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0	策定を行い、随時見直し・訓練等を行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4	0	保護者様から必ず確認し、全職員に情報共有するようにしています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0	契約時にアレルギーの確認を行っています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0	計画を作成し、必要な訓練等随時行っています。見直した方がいいことがあれば職員で話し合って改善しています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0	毎年緊急連絡先の確認は書面でしており、気象対応について随時伝えたり、お知らせ等の配布・掲示を行っている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	怪我や事故等が起こった場合、状況確認や防止対策について職員で共有、話し合っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	身体拘束当禁止適正委員会を設置し、マニュアルを作成しています。保護者様にも契約時書類を提示し、説明を行っています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	1	3	現在該当する方がおられません。	今後必要な場合には十分に検討し、丁寧な説明を行うとともに身体拘束の適正化に努めます。	